mudefNEWS

2015 | 5月号

mudef news は、国連ミレニアム開発目標（MDGs）を軸に、音楽と ART を通じた、
よりよい世界づくりを目指す一般財団法人 mudef の「今」をお伝えするニュースレターです。
mudef news is a report on mudef' s current activities,
which aim to change the world in a better way through music and art.

VOL.50

mudef
music disign foundation

ミレニアム開発目標を知る

映画・書籍・アプリへの招待

MDGsの成立

2000年9月、アメリカ・NYで開催された国連ミレニアムサミット」では、147か国の国家元首を含む189の加盟国は、全会一致で「ミレニアム宣言」が採択されました。
宣言では、21世紀の到来を前に、「平和で繁栄した公正な世界をつくる」「貧困をなくす」など、「21世紀に世界が解決すべき課題」に国際社会が一丸となって取り組むことが表明されました。この宣言と、1990年代に開催された国際会議などで採択された国際開発目標を統合し、共通の枠組みとして生まれたのが、「ミレニアム開発目標」（MDGs）です。
MDGsは、2015年を期限として、「貧困や飢えに苦しむ人の割合を半分にする」「すべての人が、小学校へ通うことができるようにする」など、「貧困撲滅」を主題に、8つの目標を定めました。
2015年9月。MDGsの期限は半年を切りました。現在、世界は「ポストMDGs」の目標の設定について、検討が行われています。

MDGsって何？

しかし日本では、この世界的な指標「MDG s 」への理解は高くありません。
2009年、国際協力推進協会が18歳から69歳の男女9357名に対して行ったインターネット調査では、MDGsを知っている人は、わずか3.1％。30人に1人しか、この言葉を知りませんでした。
mudefでは、このMDG s を軸に据えて事業を設定、運営してきました。
ポストMDG s が取り上げられる今、「MDGsとは何なのか」、改めて、現状と共に理解を促進するための映画や書籍を紹介したいと思います。

ポストMDGsを前に、世界は変わったでしょうか？
良い方向へ？それともより悪い方向へ？

MDGsの8つの目標

GOAL1 貧困と飢えの撲滅
GOAL1 End poverty and hunger

GOAL2 初等教育の完全な普及
GOAL2 Achieve universal primary education

GOAL3 男女平等の推進と女性の地位向上
GOAL3 Promote gender equality and empower woman

GOAL4 子どもの死亡率の削減
GOAL4 Reduce child mortality

GOAL5 妊産婦の健康改善
GOAL5 Improve maternal health

GOAL6 マラリアなど感染症の蔓延を防止
GOAL6 Combat HIV/AIDS, malaria and other diseases

GOAL7 環境の持続可能性の確保
GOAL7 Ensure environmental sustainability

GOAL8 開発のための世界的なパートナーシップ構築
GOAL8 Develop a global partnership for developmen

LEARN MILLENNIUM DEVELOPMENT GOALS

END POVERTY AND HUNGER

Goal1 貧困と飢えをなくそう

国連が掲げた目標は、飢えと貧困に苦しむ人の人口を半分にすること（1990 年比）。貧困の定義は様々ですが、世界銀行では、一日 1.25 ドル以下で暮らす人を「貧困人口」と呼びます。
2014 年の国連 MDGs 報告書によれば、2010 年には、開発途上地域の 22％の人々が、1 日 1.25 ドル未満で生活していました。この数字は、1990 年と比べて半減したことを意味します。他方、栄養状態の人の割合も減少しましたが、幼い子どもの 4 人に一人は、慢性的栄養不良に苦しんでいます。
貧困と飢えは、私たちの生活の基盤を揺るがす大きな問題。貧困ゆえに、教育を受けられない、結果として世代間で貧困が続いたり、満足な医療を受けられないこともあります。貧困から発生する飢えは、子どもや妊産婦、高齢者など特に弱い立場にある人の栄養を奪い、病気にかかりやすくします。
貧困の撲滅は、MDG s の中でも最も基本的かつ根本的な問題です。

おススメ映画

ゴミと希望　拾って生きる　「チョコラ！」（2008 年、日本／小林茂監督）

『阿賀に生きる』でカメラマンを務めた小林茂監督によるドキュメンタリー。
ケニアのストリートで鉄くずやプラスチックを集めて生計を立てる子どもたち。「チョコラ（スワヒリ語で「拾う」意味）たちの日常を丹念に追った作品には、シンナーに溺れる子どもも、家族の HIV 感染など、貧困を取り巻く状況が淡々と描かれます。

じゃあ、僕はどっちにすればよかったんですか？
「ワカラナイ」（2009 年、日本／小林政広監督）

第 62 回ロカルノ国際映画祭コンペティション部門正式出品作品。母子家庭の少年「亮」が直面した貧困。病死した母親の医療代も、葬式代も出せない少年が取った道は。
日本の貧困を扱った本作ですが、貧困が私たちの身近にあることを、雄弁に描き出しています。17 歳の新人・小林優斗の演じる「亮」の孤独と苦しみは胸を打ちます。貧困格差が指摘される今こそ、ぜひ観てほしい映画です。(C)MONKEY TOWN PRODUCTIONS

ACHIEVE UNIVERSAL PRIMARY EDUCATION

GOAL2 初等教育の完全な普及

教育は、貧困から脱出し、未来を「選択する」ために最も必要なスキルです。
開発途上地域の 90％の子どもたちが、初等教育を受けており、全ての子どもが学校に通うという目標は達成が間近に迫っています。
他方、今なお、貧しさから学校に通えなかったり、通いたくでも学校が遠かったり治安が悪いために通えない子どもが世界中にいます。また宗教上の理由などから、学校に通いたくても通えなかったり、学校の施設が不十分なために通うことをあきらめる「女子」もいます。
また、高い中退率が、普遍的な初等教育の達成の障害となり続けている現状もあります。

おススメ映画

「８４歳の小学生」の物語　「おじいさんと草原の小学校」
（2011 年、アメリカ／ジャスティン・チャドウィック 監督）

イギリスの植民地支配から独立を勝ち取った 39 年後の 2003 年、ケニアで始まった無償教育制度。学校に押し寄せた子どもたちに交じって、周囲の反対や露骨な批判を受けながらも学び続ける老人マルゲ。
マルゲの独立闘争時の過去。拷問を受けた苦しみ。そして植民地の負の遺産ともいえる、かつての植民地からの独立闘争時の同国人同士の争い。当事者だった故の「学ぶ大切さ」を知るマルゲの姿には、改めて、学ぶことが自分の生を選択することにつながるのだ、ということを教えてくれます。
映画は “84 歳の小学生” キマニ・マルゲの実話を紹介したロサンゼルスタイムズの記事から生まれました。学ぶこと、生きること、その意味をぜひ映画を通じて考えてみてください。

【キャスト】
ナオミ・ハリス（『パイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズ）
トニー・キゴロギ（『ホテル・ルワンダ』『インビクタス負けざる者たち』）

関連する mudef のプロジェクト

ケニアの首都ナイロビにある、アフリカ最大規模のスラム、キベラスラムにあるマゴソスクールを応援するプロジェクト。
現在 mudef では、マゴソスクール卒業生たちがセカンダリースクールに通うための奨学金を提供。これまでに 17 名の進学を支援してきました。
ケニアの教育課程は、
初等教育課程（日本の小学校～中学校 2 年に相当。8 年間）
中等教育課程（日本の中学校 3 年～高校 3 年に相当。4 年間）
大学課程（4 年間）となっています。
初等教育にあたる教育を提供するマゴソスクールの卒業生の中で、学ぶ意欲があり、中等教育での学業も期待できる成績優秀な子どもたちの中から奨学生を選抜、子どもたちの進学を支援します。
中等教育を受けることは、子どもたちの将来の選択肢を広げることにつながります。

PROMOTE GENDER EQUALITY AND EMPOWER WOMEN

Goal3 ジェンダー平等の達成

3つ目のゴールは、すべての教育レベルにおける男女格差の解消を掲げています。女性が社会で自分たちの能力を発揮し、社会に参画し、自分たちの意見を表明することを「エンパワーメント」と呼びます。
2012年には、小学校の男女比の平等が全ての開発途上地域で達成し、女性の政治参画も増加傾向にあるなど、女性の社会参画は進みつつありますが、まだ宗教上の理由や慣習などから、女性を軽視したり社会に参画し、意見を述べることが困難な地域もあります。
さらに近年では、人間を「男性」「女性」の2種類だけではなく、性認識や、トランスジェンダーなどを配慮する必要も指摘されてきています。人間の中で性を巡る認識は変容しつつある反面、慣習や宗教などからこれまでの男女観の存続を強く主張する流れもあります。ジェンダー平等は、「あらゆる人が性に関わらず、社会でその役割を果たせること」です。今なお同性愛者への死刑が行われる国もある現状は、ジェンダーとは何か、性とは何か、まだ広く理解を獲得している状況にはないといえるのかもしれません。

おススメ映画

僕たちは忘れない。ぽっかりと空いた心の穴が愛で満たされた日々—。

「チョコレートドーナツ」（2012年、アメリカ／トラヴィス・ファイン監督）

1970年代のアメリカ・ブルックリンで実際にあった「障がいを持ち、母親に育児放棄された子どもと、家族のように過ごすゲイの話」。偶然から始まった疑似家族と法の介入を通じた崩壊の様を描く作品は、家族とは何かの意味を問いかけています。舞台「キャバレー」での演技によりトニー賞を受賞し、テレビドラマ「グッド・ワイフ」で人気を不動のものにしたアラン・カミングがルディ役を熱演。(C)2012 FAMLEEFILM,LLC

おススメ動画

時計がすすむ - 女の子が世界を変える

動画「Girl Effect」（https://youtu.be/Km54who0NWs）

12歳の女の子が世界を変える・・・
世界に蔓延する貧困に立ち向かうには、12歳の女の子が重要な役割を担っています。
彼女たちが教育を受け、経済的にも自立できるようになれば、家族を、地域を、そして国をも支えられる。そんなメッセージを、わかりやすく紹介した動画です。
日本語字幕が付いている動画なので、ぜひチェックしてみてください。
詳しくは http://www.girleffect.org/

REDUCE CHILD MORTALITY

GOAL4 子どもの死亡率を減少させる

5歳未満の子どもの死亡率を1990年の数字から3分の2に減らすことを掲げました。死亡数は現在減少傾向にあり、1990年には1000人あたり90人だった幼児死亡率が、2012年には48人に減少しました。
5歳未満の乳幼児の一番大きな死亡原因は、熟練した技術を持つ助産師が立ち会わない出産や不十分な健康管理などです。その次に、肺炎などの急性呼吸器感染症（SARS）や下痢、そしてマラリアと「はしか」が挙げられています。このことは予防可能な疾病が、5歳未満の子どもの主要な死因であることを意味しており、適切な取り組みが求められています。
子どもの健康を守ることは、子どもが学校へ通い、学び、未来を変えるチカラでもあります。その支援のため、今も様々な団体が取り組んでいます。

おススメ書籍

娘の心臓病のために。実話を童話化　「走れ！マスワラ」
（2011年、PHP研究所／ グザヴィエ＝ローラン・プティ (著), 浜辺 貴絵 (訳) ）

少し本来のゴールとは違うのですが、ぜひ読んでほしい一冊。実話をもとにした児童向けの小説。2012年には夏休みの課題図書の一冊にも選ばれました。子どもの病気を治すために、足が速い母親がマラソン大会に出場する物語。
子どもを治すために、親が様々に取り組むのだということを、改めて教えてくれる一冊。
フランスで異国をテーマにした優秀作品に贈られる「アメリゴ・ヴェスプッチ賞」を受賞しました。

IMPROVE MATERNAL HEALTH

GOAL5 妊産婦の健康を改善しよう

2015年までに妊産婦の死亡率を1990年と比較して4分の一に削減し、誰もが性と生殖に関する権利（リプロダクティブライツ）にアクセスできるようにすることを宣言しています。
しかし今なお、一番進まないのもこの分野です。1990年以降、妊産婦の死亡率は45％減少しましたが、一部の地域の達成状況は目標値に程遠い状況にあります。
先進国では珍しい出産時の死亡も、途上国では少なくありません。また、出産前の検診を受けないために、異常に気付くことが遅れたり、伝統的な知識によって、妊産婦の栄養バランスが著しく偏り、結果として胎児の生育の影響したりすることも少なくありません。妊産婦のケアのためにできることは多く残されているのです。
また世界では女性性器損傷（FGM）と呼ばれる、女性の処女性を守るなどの目的で外性器の一部またはすべてを切除したり、切除後縫合する慣習がアフリカや中東、アジアの一部で行われています。年間3000万人が受けるこの損傷行為は、女性の健康を損なうことはもちろん、出産時にもひどい苦痛を女性に与えることになります。
子どもを産むということは、世界各地で大きな格差があるという現実。その結果として乳幼児の健康にも影響を及ぼして得いるという現状があります。

おススメ映画

世界的トップモデル、ワリス・ディリーの自伝本を映画化

「デザート・フラワー」（2012年、アメリカ／トラヴィス・ファイン監督）

スーパーモデルとなるソマリア出身のワリス・ディリーの自叙伝「砂漠の女ディリー」（ワリス・ディリー (著), 武者圭子 (訳)、草思社文庫、2011年）を映画化。自叙伝はFGMを告発した内容で、世界的に大きな反響を引きおこしました。この本もおススメですが、ぜひ映画も観てください。ソマリアでFGMを受け、一夫多妻制の結婚から逃げ出した少女。逃げた先のイギリスで偶然モデルになった彼女。当たり前と思っていたFGMとは、何だったのか。それを公表するということはどういうことだったのか。彼女が「自分が違う」と知るときのシーンは必見です。(C)Desert Flower Filmproductions GmbH

おススメサイト

子どもを産むということ

サイト「BIRTH is a DREAM」（http://www.birthisadream.org/）

毎年20万人の女性が、出産が原因で命を落とすサハラ以南アフリカ。その現実を紹介するために始まったイタリア人写真家Paolo Patrunoによるプロジェクト。7か国の女性の出産現場をみることができます。子どもを産むことがどれだけ命がけなのか、その過酷な現場をぜひ見てください。(C)2014 Paolo Patruno

COMBAT HIV/AIDS MALARIA AND OTHER DISEASES

Goal6 HIV/ エイズやマラリアを防止する

2015 年までに HIV/ エイズの蔓延を阻止し、治療への普遍的アクセスの実現、そしてマラリア等感染症の蔓延の阻止を取り上げています。
今なお猛威を振るう HIV/ エイズは、近年では抗レトロウイルス剤ができたことで、「死の病」ではなくなりました。抗レトロウイルス療法は劇的に普及しており、2012 年には発展途上地域の合計 950 万人もの人々が治療を受けることができ、1995 年以来、実に 660 万人もの人々の命を救っています。
しかしそれでもその薬にアクセスできないために、亡くなる事例や、社会的差別にさらされる人は多くいます。今後も、治療の普及により、さらに多くの人々を救うことが求められています。
特に日本では、20 代の若者を中心に今なおエイズの感染は増加傾向にあります。エイズへの知識不足はもちろん、若者への性教育が不十分ということも言えるでしょう。
またこのゴールでは、最も多くの命を奪う感染症とも言える、マラリアを取り上げています。世界の人口の 2 人に 1 人が感染の危機にさらされ、年間 2 億人近くが感染するこの病気は、深刻化すると死に至る病気でもあります。そして死亡するものの多くが、免疫力のない 5 歳未満の子どもです。
マラリアは夜間に蚊帳を使用することで予防ができる他、早期発見と適切な治療を受ければ助かる病気でもあります。2000 年から 2012 年の間に、マラリア対策の大幅な拡大で、サハラ以南アフリカに届けられた蚊帳は約 10 億張。これによって、約 330 万人の人々がマラリアによる死を免れました。そのうちの 90%にあたる 300 万人は、サハラ以南アフリカに暮らす 5 歳未満の子どもたち。しかし今なお 1 分に 1 人の子どもが命を落とす現状に対し、国際社会のさらなる支援が求められています。

おススメ映画

世界を変えたのは、子どもを失った母の愛。

「ライフ」（2013 年イギリス・アメリカ／フィリップ・ノイス監督）

「ミリオンダラー・ベイビー」、「ボーイズ・ドント・クライ」で 2 度アカデミー賞他主演女優賞を獲得したヒラリー・スワンクと、「秘密と嘘」でカンヌ国際映画祭最優秀女優賞獲得、アカデミー主演女優賞ノミネート、「リトル・ヴォイス」でアカデミー賞助演女優賞ノミネートのブレンダ・ブレシンが競演。いじめに遭っている息子のためにアフリカへ長期旅行に出た母子と、孤児院の教師になるために老年の母を残しモザンビークに旅立った青年。しかしふたりの息子たちをマラリアが襲います。悲しみの中、偶然の出逢いを果たした彼女たちは、多くの子どもがマラリアで亡くなっている現実を知り、行動をおこします。日本では未公開でしたが、DVD で観ることができるのでぜひチェックしてください。

おススメ書籍

日本でマラリア患者が？現役医師によるフィクション

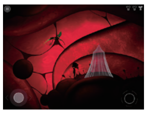
「マラリア日本上陸」（2013 年、幻冬舎ルネッサンス／岩橋秀喜）

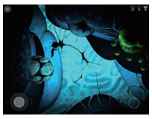
現役医師によるこの小説は、沖縄でマラリア感染者が発生したという事態から幕を開けます。政府内に対策本部を設置、調査が始まります。マラリアの感染ルートはどこからなのか、どう対処すべきなのか。日本ではかつては北海道から沖縄まで、全国でマラリアが発生、本土では琵琶湖周辺で戦後しばらくは流行したほか、沖縄の八重山諸島では「戦争マラリア」という悲劇も発生しました。日本の感染症対策の脆弱さを指摘し、感染症への意識を高める内容。対岸の火事ではないのだということを、ぜひ感じてみてください。

おススメアプリ

英国 NGO によるマラリアゲーム

「Nightmare: Malaria 」（2013 年、イギリス／ PSYOP）





アメリカで最高のエンターテイメントに贈られるエミー賞を受賞した、映像スタジオ「PSYOP」による初めてのゲームアプリ。感動するほどクオリティの高いグラフィックで展開されるゲームは、主人公の少女に、唐突に襲いかかるマラリアの恐怖を描きます。
マラリア感染した体内をイメージしたゲームは、体液の中を漂う感覚で進みます。アクションゲームですが攻撃は一切できないという非力さ。蚊に攻撃されないよう蚊帳の中に逃げたり隠れるゲーム。ゲームはイギリス NGO「Against Malaria Foundation (AMF)」が企画し、英国でも高い評価を得ました。
ダウンロードはこちら
→https://itunes.apple.com/jp/app/nightmare-malaria/id741194411?mt=8

関連する mudef のプロジェクト

2008 年 MISIA が東南部の小国マラウイを訪問したとき、目にしたのは、蚊が飛び交う中で眠る子どもたちでした。
一分に一人、子どもがマラリアで命を落とす現実。
その原因となっているマラリアは、蚊帳の中で眠ることで、予防できる病気でもあります。病院や公共施設で無料で配布するものの、そこまで行く交通費が支払えなかったり、日々の仕事に追われて、蚊帳を受け取れない家族が多くいます。
一人でも多くの子どもが、安心して眠り、病気にかからずに学校に通うこと。それは子どもたちが「自分がなりたい未来」を作るために必要なことでもあります。
mudef では設立以前より蚊帳を子どもたちに届ける事業を開始、2013 年はマラウイ、セネガルという 2 か国へ蚊帳を届けることができました。
2014 年 5 月現在、子どもたちへ届いた蚊帳の総数は 8500 張にのぼります。

キャンペーンで配布する蚊帳は、住友化学株式会社より「Olyset ® NET」2000 張を調達しています。2009 年のキャンペーン開始以来一貫して使用している銅製品は、ポリエチレンにピレスロイドという防虫剤を練りこみ、薬剤を徐々に表面に染み出させる技術「コントロール・リリース」を用いたもの。研究開発を通じ、防虫剤処理蚊帳「オリセット ® ネット」が開発されています。
現在、WHO からも使用を推奨されており、国連児童基金（UNICEF）などの国際機関を通じて、50 以上の国々に供給されています。
「オリセット ® ネット」の調達に当たっては半数を mudef で、残りを住友化学株式会社でマッチング寄付として購入していただいた他、輸送にかかる経費も半額を負担していただいています。

ENSURE ENVIRONMENTAL SUSTAINABILITY

MDG 7

Goal7 生活の向上と地球環境の保全

この７つ目の目標は、一番欲張りな目標です。
掲げているのは持続可能な開発を実現し、環境資源を保全すること、そして生物多様性の損失を食い止めることが挙げられています。
現在専門家たちが検討するポスト MDGs では貧困撲滅と並び大きな柱に据えられているのが、この「持続可能な開発」です。貧困撲滅をただ進めるだけでは環境破壊も起こりうる。その事態を避けるためにも、環境に配慮した開発を進める重要性が指摘されています。
1990 年以来、改良飲料水源を利用できるようになった人の割合は 9 割近くに達した他、世界の人口の 4 分の 1 以上が、改善された衛生施設を使用できるようになりました。しかし 10 億人もの人々が未だに、屋外排せつを行っています。成長の一方で、清潔で安全な生活を送ることができない人が大勢いるのです。
mudef では事業の一つに据えているのが、この生物多様性の保全ですが、これは私たちの生活そのものをさしています。生態系は各地域ごとの豊かで多様な自然を生み、文化や歴史をはぐくみました。地球の長い歴史の中で、この豊かな生物多様性の恵みを知ることは、私たちを取り巻く歴史や文化を知り、敬うことにもつながっているのです。

おススメ映画

地球温暖化より深刻？な水をめぐる争い

「ブルー・ゴールド 狙われた水の真実 」（2008 年、アメリカ／サム・ボッゾ監督）

水が豊かだと言われている日本。それでも近年では水資源をめぐる議論が見られるようになりました。2010 年に公開された映画では、21 世紀が「水の世紀」であることを示しています。開発途上国に迫る水道事業の民営化は、水がもはや当たり前のものではないことを意味しています。市民が清涼飲料水メーカーを訴えたアメリカでの裁判、国連に「水は人権であり公共信託財」である水憲章採択を迫る運動、水道が民営化されたボリビアでの抗議運動など、“水” をめぐる人々の権利闘争を、世界規模で追跡した映画は、当たり前に手に取るペットボトルの「ミネラルウォーター」の背景を教えてくれます。

おススメ書籍

「地球の生命のあゆみ」と「137 億光年の宇宙の旅」

「パノラマえほん うちゅうといのち 」（2013 年、旬報社／ 縣 秀彦 (監修)）

なぜ宇宙？と思うかもしれませんが、私たちの頭上に広がる夜空の歴史を知ることは、地球の長い奇跡のような歴史を知ることにもつながるんです。
夜空に広がる星の光は宇宙の歴史。「●光年」は宇宙の歴史でもあります。そう思って宇宙を見ると、137 億年の歴史の重みと同時に、地球ができて 46 億年の歴史の「奇跡」も感じられるでは？「地球の生命のあゆみ」と「137 億光年の宇宙の旅」の 2 つの世界が全長 2.8 メートルの大パノラマで学ぶことができます。
絵本と侮るなかれ。地球の壮大な歴史を感じられるおススメ絵本です。

おススメアプリ

生物多様性を知ろう

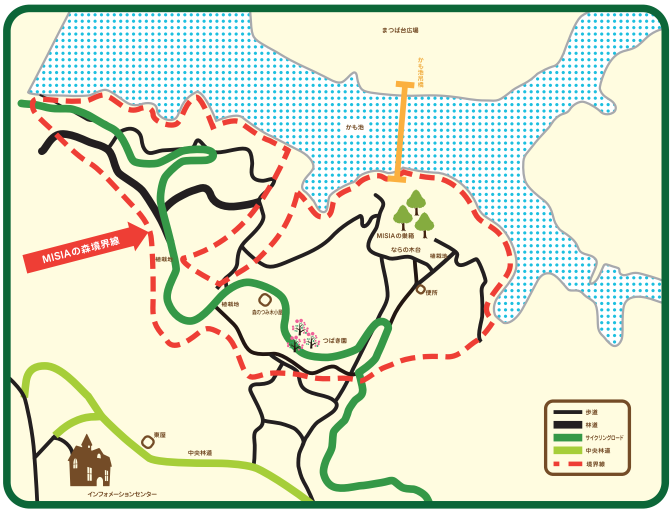
検定アプリ「MISIA の生物多様性検定」
（2015 年、mudef, 一般社団法人 CEPA ジャパン）

身の回りの暮らしの習慣や絶滅危惧種などを 3 択で選ぶことで、ゲーム感覚で生物多様性について学べるアプリとして、作成されました。「生物多様性」というとわかりにくい、難しいイメージがありますが、このアプリでは MISIA キャラクターと日本国内の絶滅危惧種 10 種類が出題する合計 60 問にチャレンジすることで、季節の習慣や日本各地の環境問題、生物多様性についてわかりやすく学ぶことができます。
ダウンロードはこちら
→ https://itunes.apple.com/jp/app/misiano-sheng-wu-duo-yang/id848223379?mt=8

関連する mudef のプロジェクト

MISIA の森

mudef は、石川県森林公園（石川県河北郡津幡町）で約 6 ヘクタールを借りて、「MISIA の森」プロジェクトを運営しています。2011 年から始まったこのプロジェクトは、2010 年に MISIA が COP10（生物多様性条約第 10 回締約国会議）の名誉大使に就任したことをきっかけに始まりました。
5 年間という期限の中で、森を舞台に環境や生物多様性について知り、意識を高めるための活動を行います。
同プロジェクトでは石川県、津幡町の全面的な協力を受けて森の保全活動を行う他、子どもたちが住む未来の地球への希望を込めて、子どもたち自身が未来を考えていくきっかけとなるような「豊かな森」作りを、アートを通じて行っています。
森ではこれまで人気ゲーム機を用いた生きもの調査や大学生のデザインによる観察小屋の建設、アーティストのデザインによる巣箱など、しかけがいっぱい。
石川の森へぜひ遊びに来てくださいね。



DEVELOP A GLOBAL PARTNERSHIP FOR DEVELOPMENT

Goal8 世界の一員として先進国も責任を果たそう

この目標は、他の７つの目標と異なり、先進国が果たすべき課題として、公正な貿易と金融システムの構築や後発開発途上国のニーズへの対応、開発途上国の債務への対応など、貧困削減のために、国家が国家に対してできる取り組みを促しています。その意味では、そのほかの７つのゴールが対開発途上国であるのに対し、このゴールは先進国への宿題を渡しているともいえるでしょう。
先進国で構成される OECD では、GNI の 0.7％を ODA に使用することを国際公約として取り決めています。しかしこの 0.7% に到達しているのはルクセンブルクなど数か国のみ、日本ではむしろ ODA の減額が課題となっています。
貧困の撲滅は、貧困人口の当事者で解決できる問題ではなく、社会がかかわる問題であり、そしてその社会は、途上国ではなく、世界全体を意味しています。
社会の構造が貧富格差を生み出す中で、富める者がいかに貧しいものを救うのか。構造的な課題を示しているのが、このゴールともいえるのです。

おススメ映画

腐敗と貧困、そして正義とは

「ブラッド・ダイヤモンド」(2006 年、アメリカ／エドワード・ズウィック監督)

ダイヤ密売人アーチャー、反政府軍の襲撃により家族と引き裂かれたソロモン、紛争ダイヤモンドの真実を暴こうとするジャーナリストのマディー。アフリカ地域紛争で武器調達の資金源として不法取引される“ブラッド・ダイヤモンド”に託された三者三様の思惑。レオナルド・ディカプリオ主演の作品は、アフリカが抱える問題を描いた衝撃作として話題になりました。私たちのあこがれるジュエリーをめぐる課題とは。その背景の世界の貧困問題への視点も投げかけています。(C)2006 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC.

おススメ映画

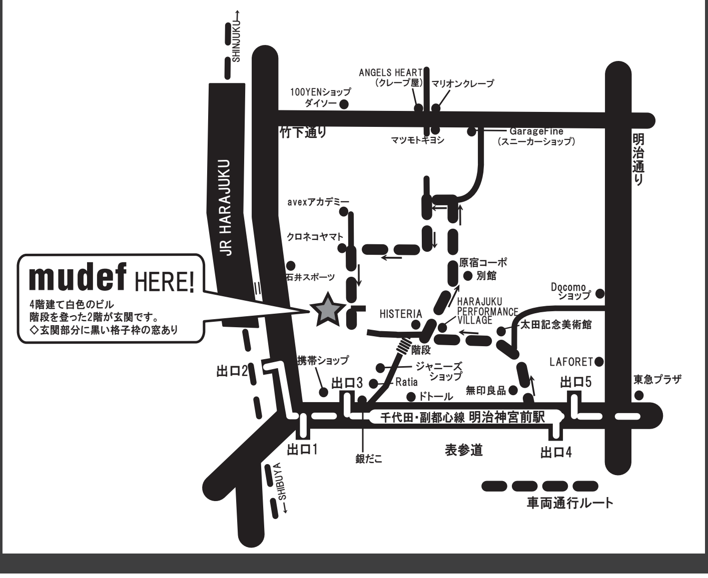
援助とは何か？改めて考える

「ルワンダの涙」
(2005 年、イギリス・ドイツ／ マイケル・ケイトン＝ジョーンズ監督)

1994 年 4 月、アフリカの大地で起こった人類最大の悲劇、ルワンダの虐殺。
ルワンダ国内の実際に事件の起きた学校でのオールロケを敢行し、虐殺の生存者が映画スタッフとして参加した作品は、虐殺を描くだけではなく、人が簡単に殺人を犯せるのだということと同時に、「援助」とは何かを突きつける作品でもあります。
紛争地域でできることは何か、寄り添うことなのか、それとも脱出して、遠くから支援の手を差し伸べるのか。答えの無い問いですが、それだからこそ、私たちに改めて、援助のあり方を考えさせる作品です。

事務局より

[オフィス移転のお知らせ]
神宮前２丁目の mudef の作業オフィスを移転しました。郵送物や電話などの変更はありません。
ADDRESS: 150-0001　東京都渋谷区神宮前 1-14-13
ACCESS　: JR 山手線「原宿」駅または東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前」駅
TEL：03.5414.7778　Email: info@mudef.net



[メディア掲載情報]
愛知県知多半島の生物多様性保全の取り組みを紹介する愛知県のフリーペーパー「ecoReco あいち」。
3 月に発行された 10 号に MISIA の「季節の便り」が掲載されました。
創刊号から始まり、本号で最終となる「季節の便り」。
愛知県内で無料で配布されているので、ぜひチェックしてください。

WE ARE MUDEF.

mudef は、音楽 (music) とデザイン (design) を組み合わせたコトバ。
地球には、解決しなくてはならないコトがたくさんあります。
様々な問題に取り組むためには、国境を超えて人びとが協力し合うことが大切。
そのために生まれたのが、mudef(ミューデフ)。

「地球と人類が直面する宿題解決をちょっぴりでもお手伝いしたい。国境も言語も人種も超えるチカラを持つ音楽とデザインの特技を活かして！」
そう考えるアーティストの集まりです。

We have so many issues to solve.
To solve the problems, it is crucial that people cooperate with each other beyond borders.

We, mudef, was established for that purpose.
The term mudef is a combination of the words music and design.
We want to contribute to solving the issues the Earth and human beings are facing, even if only slightly, through exploiting the special power of music and design that goes beyond borders, languages and races.
mudef is a group of artists who share that principle.

発行：一般財団法人 mudef 事務局　TEL：+81.3.5414.7778　info@mudef.net